

第1回市民体育館等あり方検討委員会議事録

日 時 平成27年11月9日(月)

場 所 鳥取市役所駅南庁舎第6会議室

出席者	鳥取大学	学長顧問	本名 俊正	委員
	鳥取市自治連合会	会長	渡邊 勘治郎	委員
	スポーツ推進審議会	会長	油野 利博	委員
	鳥取市社会福祉協議会	会長	下石 義忠	委員
	鳥取市老人クラブ連合会	副会長	西尾 常雄	委員
	商工会議所	専務理事	大谷 芳徳	委員
	美保地区自治会	会長	安木 恭次	委員
	鳥取市卓球協会	理事長	但井 健二	委員
	公募委員		山田 昌子	委員
	公募委員		田中 壽子	委員

事務局	鳥取市教育委員会事務局	局長	尾室 高志
	同局 生涯学習・スポーツ課	課長	奥村上 雅浩
	同 上	係長	西谷 直之
	同 上	主任	山根 達弘
	同 上	主事	中島 康喜

1 開 会(15:30)

2 あいさつ

尾室局長：お忙しい中お集まりいただき感謝する。市民体育館は、昭和48年度に建築されてから40年以上が経過しており、平成22年度に実施した耐震診断の結果、耐震補強を要する施設として位置づけられた。

新しい公共施設経営の観点から、市民体育館も、廃止・統合を含めた今後のあり方についての検討を行うため、平成26年度に「鳥取市民体育館等再整備に係る基礎調査業務」を実施した。その調査結果をもとに市民体育館の更新に係る方針を検討するため、皆様に本委員会の委員就任をお願いし、本日お集まりいただいた次第である。皆様方それぞれの立場から、多面的に、活発なご審議をいただきますことをお願い申し上げます。

3 委員紹介

(各委員より自己紹介)

4 説明事項

- (1) 市民体育館等あり方検討委員会設置要綱
- (2) 今後のスケジュール (概要)

5 委員長、副委員長の選任について

事務局：委員長、副委員長は委員の互選となっている。差し支えなければ、事務局案として、委員長には油野委員、副委員長には本名委員を推薦したいが、委員の異議はあるか。

(異議なし)

事務局：それでは、事務局案の通りとする。

6 協議事項

油野委員長：事務局より説明を。

事務局：(「第1回市民体育館等あり方検討委員会 資料」に基づき、以下の内容を説明)

- (1) 経緯と基本的考え方
- (2) 市民体育館の現状と課題
- (3) 市域全体のバランス
- (4) 利用者の将来予測
- (5) 再整備検討の方向性

大谷委員：現状で駐車場は足りているか。建物は立派でも駐車場が足りないということではまずい。報告書では、駐車場の規模についての記述がない。

事務局：現状の駐車場規模でおおむね充足しているものとする。駐車スペースが不足する場合には、グッドヒルを臨時駐車場として利用するなど、地域との協力体制もできている。ご指摘の通り、報告書は駐車場の規模についての分析が不十分である。大会時に必要になる駐車スペースや道路がどれほど混雑するかなどを考えていかないといけない。

安木委員：バードスタジアムはシャトルバスを出している。利用を拡大するためにそういった方法も検討しては。防災拠点としての役割が重要である。美保地区住民がもっとも避難しやすいのは市民体育館であるということを理解してほしい。増水時は国道側の入り口で二階からしか入れない。そのあたりも検討してほしい。

本名副委員長：改修にも多額の費用がかかるのであれば、改築してしまった方がよいのでは。また、現在地はアクセスが良いので、現在地周辺に建て替えるのがよいだろう。また、少子高齢化の中でどんな体育館が必要か。地区体育館ではできないような複合的な施設を。夢のある施設を作り、県外からの利用も増やすべきだ。

油野委員長：県民体育館で漫画博を開催したように、体育館にはイベント用の機能もある。

西尾委員：県民体育館のトレーニングルームの利用が多い。建て替えの場合は、トレーニ

ングループを充実させるべきだ。

油野委員長：冬場、高齢者が引きこもってしまい、運動しない傾向がある。なんとか、冬場に高齢者が活動的になるようにしたい。

但井委員：岡山の桃太郎アリーナには卓球台が60台ある。会議室や、駐車場の状況からすると、おおきな大会は誘致できない。美保球場で同時に試合があると、駐車場は足りない。駐車場にテントや屋台を出すと手狭になる。また、国道への接続が1箇所なので、渋滞する。体育館のフロアも狭い。

渡辺委員：地区体育館が廃止・統合されれば市民体育館がニーズを吸収することになる。複合化の視点も重要である。市民体育館を廃止すると10万人近くが使えなくなり問題である。

山田委員：老後に備えて、40代～50代のうちからスポーツをしてもらえたら。住みやすい街であれば、人口も増えるのでは。ハードだけではなく、ソフトの充実も。

田中委員：自分は団塊の世代で1番人口が多い世代。同世代の人々が、県民体育館のトレーニングルームをよく利用している。しかし、市民体育館のトレーニングルームは古く、利用が少ない。整備・充実を。

下石委員：夢を語るのも大事だが、実現可能性も重要だ。手軽に利用できて、利用が多い施設を。

本名副委員長：市全体の体育館のあり方がテーマである。スケートリンクの複合化も検討を。

7 その他

事務局：第2回委員会は1月第2週、第3週を予定している。委員には日程調整後、連絡する。

8 閉会(17:10)